

万博公園探鳥会

2026年2月14日(土)

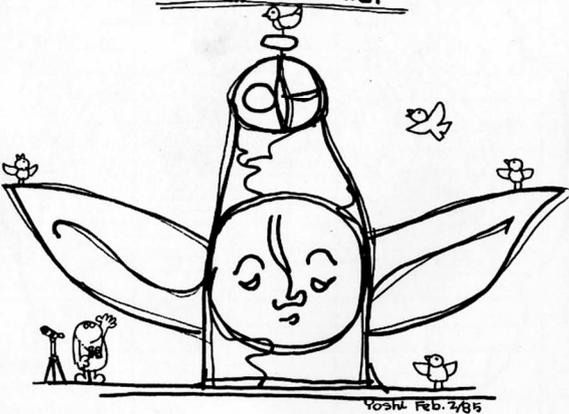
リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

万博公園探鳥会は1985年2月にスタートし、42年目に入りました。これからも、参加して下さる皆様とともに、万博公園の鳥を楽しみたいと思っております。

I 万博公園探鳥会第1回(1985年2月16日(土)) ①探鳥会資料

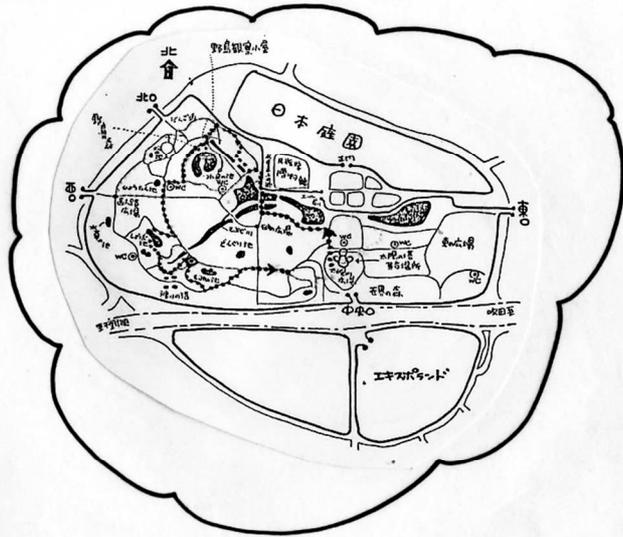
万国博記念公園探鳥会

1985・2・16(土)
日本野鳥の会大阪支部



1970年開工された日本万博の跡地に造られた公園です。10数年たった。樹木も繁り四季の花が咲きすばらしい公園になりました。今日は万博の10周年記念事業のひとつとして1980年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール
鳥の気持になって観よう。(静かに、そと)
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。
採取はしないで、そのまま。
メジロのワッペンに誇りをもって。

②当日探鳥会で観察した鳥 34種

↑中野義弘氏デザインによる探鳥会資料

カイツブリ・コサギ・マガモ・カルガモ・ヒドリガモ・キンクロハジロ・ハイタカ・コジュケイ・キジ・バン・キジバト・コゲラ・ヒバリ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ヒヨドリ・モズ・シロハラ・ツグミ・ウグイス・エナガ・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・カワラヒワ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・ハシボソガラス・ハシブトガラス

赤字は現在全く観察できなくなった草原の鳥(樹木の生長により万博公園に住めなくなった鳥)

- この5種のうち、冬鳥カシラダカを除くコジュケイ・キジ・ヒバリ・ホオジロは留鳥であり、万博公園内で繁殖・子育てをしていました。
- 中でもキジ、1985年か86年だったと思いますが、繁殖期にキジ雄の声「ケン・ケン」をカウントしたことがあり、探鳥会スタートから終了までの間に50回カウントしました。

③探鳥会リーダー 塩田猛氏、中野義弘氏、平 軍二

その後、現在まで30名近い方にリーダーをお願いしてきました。

万博公園で初の探鳥会 野鳥との出会いを

日本野鳥の会大阪支部



探鳥会で一番見かける「オドリ」

日本野鳥の会大阪支部は、きたる2月16日(土)に万博公園探鳥会、また翌17日(日)には真面目公園定例探鳥会を開催する。

日本野鳥の会は、先月くられた中西啓堂氏の提唱により戦前からつくられている趣味の団体。本部は東京に置かれており、全国50数か所に支部を持ち、会員も1万3千人を越えている。一方、大阪支部も戦前からある歴史の古い探鳥会、現在、1千人強の会員が加入している。

実際の活動としては、「鳥の声を聞き、鳥を見て楽しむ」という基本理念の下、本部では全国的な自然環境の悪化という社会的な状況から、特に野鳥の保護に力を入れている。これは、各地方に鳥がすめる環境を「いい環境」として、いわば鳥を驚かせず観察できるサンチュアリー(聖域)を整備。また、専門家集団ではなく、仕事をしながらのボランティア主体というのが特徴。また、大阪支部も、府下の野鳥の生態系の調査なども行っているが、メインとしているのが、多くの人が、鳥を見ることが出来るようにすること。

万博公園探鳥会は、2月16日(土)午前9時30分、太陽の塔前で集合し公園内をゆっくり見て歩

万博公園での探鳥会は、昭和三十九年(1964年)に、大阪府の野鳥の調査事業の一環として、昭和三十九年度に「野鳥の森」が整備されており、公園全体で約50種類の野鳥が確認され、その内10数種類の野鳥が繁殖している。今では府下有数23ヶ所あり、吉村理一さんへ、

また、翌17日(日)の真面目公園定例探鳥会は、午前9時に阪急箕面駅に集合。大阪から最も近い山の鳥の豊庫だけに、カラス類、ワシタカ類、キツツキ類などが見られる。問い合わせは電話072-871-6802、塩田 猛さんへ。

(土)午前9時30分、太陽の塔前で集合し公園内をゆっくり見て歩

き、カモ類、サギ類、カラス類などを観察する。都会周辺ではめづり少なくなってきたカワセミもよく見られるとか。解散予定は午後2時頃の予定。問い合わせは電話072-871-6802、塩田 猛さんへ。

万博公園探鳥会は、2月16日(土)午前9時30分、太陽の塔前で集合し公園内をゆっくり見て歩

き、カモ類、サギ類、カラス類などを観察する。都会周辺ではめづり少なくなってきたカワセミもよく見られるとか。解散予定は午後2時頃の予定。問い合わせは電話072-871-6802、塩田 猛さんへ。

←④千里タイムズに掲載された探鳥会案内

その後 40 年間お世話になったが、2025 年 5 月に休刊された。

Ⅱ①万博公園の鳥第8回「ヨシガモ」

漢字名 葭鴨 学名 *Anas falca* 英名 Falcated Duck



ヨシガモ 20260110(橋本昌宗)

12月&1月万博公園定例探鳥会では、「水鳥の池」でヨシガモが観察できた。公園内にある池はすべて、万博公園が作られたときに新設された池のため、下流の「夢の池」を除くと池面積が小さく、カモが一冬定住し続けることが少ないこと、桃山公園のようにオオカナダモもないので、何時までいるか楽しみである。

万博公園の水路は「もみじの滝」をスタートし「夢の池」まで流下しているが、上流の「もみじの滝」へはポンプアップによる水循環システムとなっている。循環設備が設置されて55年経過し、現在補修工事が進められているため、水が全く流れていない水路があり、途中にある池の水量も安定していない。

このよう環境下、降雨量が少ないこともあって「水鳥の池」の水位が下がっていて、オシドリ姿を見ていないものの、ヨシガモがいて12月探鳥会で6羽、1月探鳥会で2羽確認した。

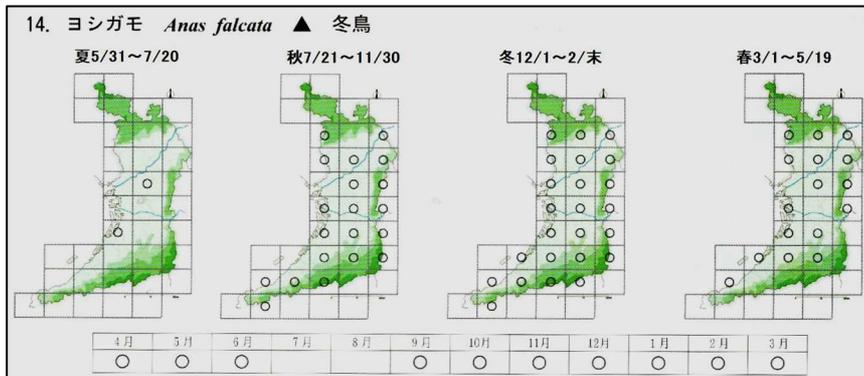
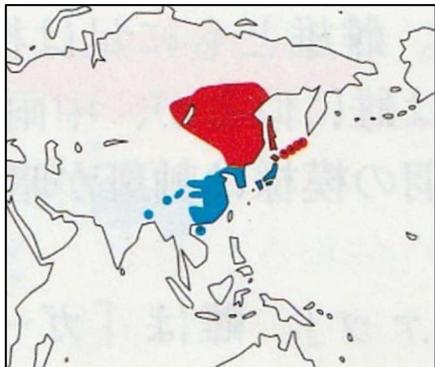
2024年1月実施のガンカモ調査結果によると、大阪府全体でトータルカモ生息数が36,167羽で、内ヨシガモは325羽(1%)、ミコアイサ(348羽)と同レベルで、オシドリ(636羽)の半数であった。吹田市では桃山公園(春日大池)や千里第4緑地(海老池)でヨシガモが確認されるが、定着しておらず、2024年1月調査結果は海老池のみ(4羽)であった。

桃山公園(春日大池)は「魅力向上対策」から2022年秋~2023年春にリニューアル工事が行われた。改修前の桃山公園春日大池には外来植物のオオカナダモが大群生しており、このオオカナダモを主食とするオオバンも多かった。オオバンが潜ってオオカナダモを採って水面に浮上すると、近くで待っていたヨシガモが横取りして食べるという光景が良く観察できた。春日大池のヨシガモ(とオオバン)の生息数を見ると、**2021年1月ヨシガモ35羽(オオバン118羽)**、**2022年1月ヨシガモ42羽(オオバン117羽)**と多かったが、改修後にオオカナダモがほとんど無くなったことが影響してか、**2023年1月ヨシガモ3羽(オオバン35羽)**、**2024年1月ヨシガモ0羽(オオバン22羽)**と、両種とも激減している。

平は大阪支部くろんど園地定例探鳥会で奈良県生駒市くろんど池に足を延ばすことがあり、オオバンの取ってきた水草をヨシガモが横取りする光景を見ていたが、インターネットでもヨシガモがオオバンに「労働寄生」しているとの報告があり、全国的確認されている行動であった。

II ②大阪府のヨシガモ→ (大阪府鳥類目録 2016)

冬鳥として渡来、晩秋から早春にかけ、大阪府のほぼ全域で観察されている。



← II ③世界の繁殖越冬分図

真木・大西 日本の鳥 590 平凡社(2000年)

千島・サハリン、ロシア東部に繁殖地があり、冬は日本・中国で越冬する。本州以南の日本では冬鳥、北海道では少数繁殖している。

III 先月 2026年1月探鳥会

快晴の探鳥日和で、冬鳥の個体数は少なかったもののシロハラ・ツグミ・ジョウビタキ・アトリ・シメ・アオジの常連が出てくれました。猛禽類はカラスに追われながら飛び回るオオタカ、そしてハイタカ、最後にチョウゲンボウが飛んでくれました。留鳥もシジュウカラがあちこちで、ヤマガラ・エナガも良く出てくれた。今日のトピックスは探鳥会資料に入れたタシギ、先月観察した水すましの池上流側で草が刈り取られていたためいなくなったと思っていたが、草刈りあとの中にいることがわかり、その内エサ探しに動き始めたので全員でゆっくり観察できた。タシギの羽の色模様が草刈り跡ではカモフラージュされる保護色であることがわかった。鳥の個体数は多くなかったが種数はまずまずで、久しぶりに40名を超える多数の参加者に、冬の鳥の生活を楽しんでもらうことができた。

鳥写真 橋本昌宗氏 (20251213)



シメ



タシギ



アオジ



ジョウビタキ雌



ジョウビタキ雄



オオタカ

IV 万博公園探鳥会 観察種チェックリスト (第8版ベース)

万博 No	第8 版	種名	2024				2025				2026				第8 版
			12 14	1 11	2 8	3 8	12 13	1 10	2 14	3 14	12 13	1 10	2 14	3 14	
1	21	オシドリ			2	1								21	
2	23	トモエガモ												23	
3	27	オカヨシガモ	27	7	1	1								27	
4	28	ヨシガモ		2	2			6	2					28	
5	29	ヒドリガモ												29	
6	32	カルガモ	28	26	28	25		18	15					32	
7	33	マガモ						2	2					33	
8	34	オナガガモ												34	
9	35	コガモ						2						35	
10	39	ホシハジロ				1								39	
11	43	キンクロハジロ	1	4	4	3								43	
12	56	ミコアイサ												56	
13	69	アマツバメ												69	
14	82	ツツドリ												82	
15	89	キジバト	6	7	6	8		2	2					89	
16	93	アオバト				2								93	
17	96	クイナ												96	
18	100	バン		1										100	
19	101	オオバン	5	4	4	4			2					101	
20	117	カイツブリ	3	13	7	9		5	4					117	
21	119	カンムリカイツブリ				1								119	
22	128	ケリ												128	
23	134	イカルチドリ												134	
24	135	コチドリ												135	
25	163	トウネン												163	
26	183	タシギ			1	2		2	1					183	
27	188	イソシギ												188	
28	213	ユリカモメ												213	
29	315	カワウ		1	1	2			1					315	
30	328	ゴイサギ			1									328	
31	333	アオサギ	1	2		4		1						333	
32	335	ダイサギ			1				1					335	
33	337	コサギ		1	4	2			1					337	
34	343	ミサゴ	1		1									343	
35	344	ハチクマ												344	
36	352	ツミ												352	
37	353	ハイタカ	3	1		3		3	1					353	
38	354	オオタカ			2				1					354	
39	359	トビ	1		1									359	
40	363	サシバ												363	
41	366	ノスリ	1											366	
42	384	カワセミ	6	6	3	5		3	3					384	
43	389	アリスイ												389	
44	390	コゲラ	4	5	5	2		5	4					390	
45	402	チョウゲンボウ				2			1					402	
46	407	ハヤブサ												407	
47	411	サンショウクイ												411	
48	412	リュウキュウサンショウクイ		1	1									412	
49	419	サンコウチョウ												419	
50	425	モズ	1	5	3	1		2	4					425	
51	435	ハシボソガラス	21	4	8	22		11	12					435	
52	436	ハシブトガラス	54	127	52	91		52	80					436	
53	439	ヒレンジャク												439	
54	442	ヤマガラ	3	7	4	4		6	6					442	
55	447	シジュウカラ	14	18	34	15		21	20					447	
56	456	ヒヨドリ	98	68	72	68		49	35					456	
57	461	ツバメ												461	
58	462	イワツバメ												462	
59	463	コシアカツバメ												463	
60	464	ウグイス	3		1	1		4	1					464	
61	466	ヤブサメ												466	
62	467	エナガ	11	7	3	4		2	16					467	
63	476	センダイムシクイ												476	
64	479	エゾムシクイ												479	
65	481	メボソムシクイ												481	
66	482	オオムシクイ												482	
67	484	オオヨシキリ												484	
68	501	メジロ	8	16	16	10		9	7					501	
69	507	ムクドリ	14	4	5	18		10						507	
70	509	コムクドリ												509	
71	514	トラツグミ				1								514	
72	526	シロハラ	3	26	20	18			4					526	
73	527	アカハラ												527	
74	531	ツグミ	25	8	14	23		10	2					531	
75	532	ハチジョウツグミ												532	
76	533	エゾビタキ												533	
77	537	コサメビタキ												537	
78	539	オオルリ												539	
79	545	コマドリ												545	
80	550	キビタキ												550	
81	556	ルリビタキ				2								556	
82	561	ジョウビタキ	8	11	11	6		3	5					561	
83	564	インビヨドリ	2		2	1			1					564	
84	568	ノビタキ												568	
85	574	ニュウナイスズメ												574	
86	575	スズメ	28	44	42	10		51	23					575	
87	584	キセキレイ				1		1	2					584	
88	585	ハクセキレイ	21	13	10	7		15	18					585	
89	586	セグロセキレイ	1		2	1			3					586	
90	591	ビンズイ						2						591	
91	595	タヒバリ												595	
92	597	アトリ	5	38	52	4		13	5					597	
93	598	シメ		1					1	2				598	
94	600	イカル			14	4		17	1	1				600	
95	608	カワラヒワ	19	10	26	8		20	31					608	
96	618	ホオジロ												618	
97	625	カシラダカ												625	
98	633	アオジ	2	6	8	5		6	2					633	
99	11	ドバト	○	○	○	○		○	○					11	
100	25	ソウシチョウ	1	5										25	
		カッコウSP													
		ムシクイSP													
		タカSP													
101	23	ハシビロガモ												23	
102	543	ノゴマ												543	
種類数(種)			35	36	44	42		32	37						
個体数(羽)			429	513	468	414		337	319						
天候			曇	晴	晴	晴		晴	晴						
参加者数(人)			27	23	18	33		22	42						

V 次回3月14日(土)万博公園

ツグミ・アトリなど冬鳥は渡去前の栄養補給に懸命の日々、ジュウカラ・ウグイスなど留鳥は繁殖準備に入る季節。鳥たちの春の歌がたのしみです。

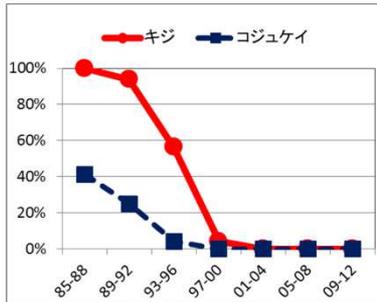
参加ご希望の方、今日と同じように、大阪支部 HP のホームズ様式からお申込みください。申し込みが難しい方は、平(g.0501.hi@gmail.com)宛連絡ください。

VI 万博公園の樹林の変化と観察できる鳥

上述の通り、万博公園探鳥会は 1985 年にスタートした。最下段右写真に示すように当初植えられた木が小さく、樹林というよりは草原状態にあり、キジ・コジュケイ・ホオジロの天国であった。しかし樹林の変化とともに草原の鳥がいなくなり、今は林の鳥が中心になっている。

また 2007 年～2015 年、および 2023 年にはオオタカが営巣・子育てをしたが、今は営巣していない。

③草原の鳥① (キジ・コジュケイ)



キジ 1980年代 天筒靖昌氏



樹木名板 キジ

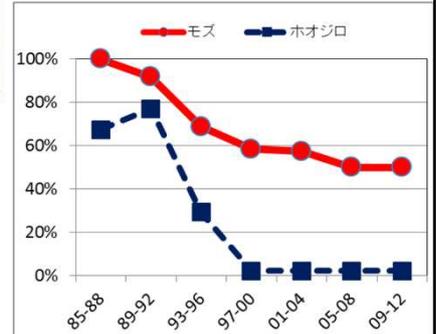
③草原の鳥② (モズ・ホオジロ)



モズ 2007年 有賀憲介氏



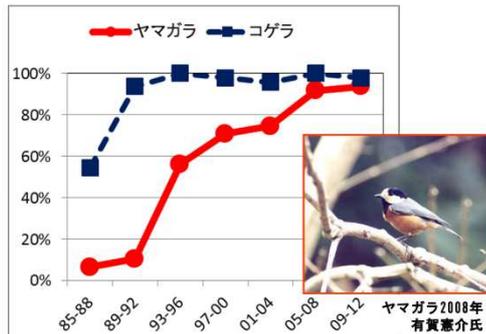
ホオジロ 2014年 有賀憲介氏



③林の鳥①留鳥 (ヤマガラ・コゲラ)



コゲラ 2010年 有賀憲介氏



ヤマガラ2008年 有賀憲介氏

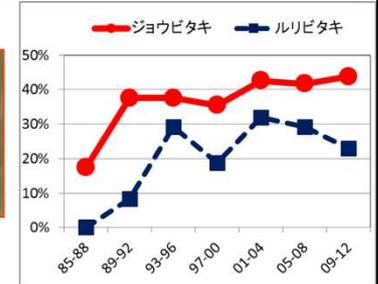
③林の鳥②冬鳥 (ジョウビタキ・ルリビタキ)



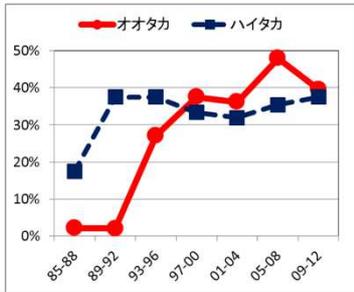
↑ジョウビタキ 2011年 有賀憲介氏



←ルリビタキ 2004年 有賀憲介氏



③林の鳥 (オオタカ・ハイタカ)



オオタカ 2010年 有賀憲介氏

冬鳥のハイタカと、留鳥のオオタカの観察頻度がほぼ同じ。繁殖期のオオタカが姿を見せることは少ないため。

③自然文化園樹林の変化・航空写真



↑ 1981年 (植えられた木が1本1本)

(こんもりした森に)
↓ 1992年?



大阪府万博記念公園事務所提供